



Midsummer：授業アイデア (簡単版)

夏至祭（ミッドサマー）をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. カエルのダンスで英語の体の部分

小学校・15分

🎯 体の部分（ears, tail, hands など）の英語を、体を動かしながら覚える。

- スウェーデンの夏至祭の写真と、カエルのダンスの様子を見せる。
- No ears, no tail! のように、体の部分を指しながら英語で言う練習をする。
- 輪になってしゃがみ、先生の言う体の部分をさわりながらカエル跳びで回る。

2. 冬至と夏至：日本と北欧の行事くらべ

高校・40分

🎯 気候と行事の関係を考え、英語で比較の文を書く。

- 日本の冬至（ゆず湯・かぼちゃ）と夏至（夫婦岩の夏至祭・夏至カレー）、スウェーデンの夏至祭を表にまとめる。
- なぜ北欧では夏至が大きな祭りで、日本では冬至の習慣が多いのか、日の長さや梅雨と結びつけて話合う。
- In Sweden, ... but in Japan, ... の形で比較の文を3つ書き、発表する。



1. カエルのダンスで英語の体の部分

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

ears, tail, hands, head などの体の部分の英語を聞いてその場所をさわり、No ears, no tail! と言いながらカエル跳びで踊れる。

準備

- スウェーデンの夏至祭の写真（夏至柱のまわりで輪になって踊る様子・花の冠）
- 体の部分の絵カード（ears / tail / hands / head / nose / eyes）
- 輪になってしゃがめる広さの場所（体育館か、机を下げた教室）
- 基本セット p.3（マッチング6組：frog / strawberry / sun / fire / fish / flower）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	夏至祭の写真を見せ、スウェーデンでは夏の長い日に、葉と花で飾った高い柱のまわりで踊ることを紹介する。おじいさんやおばあさんも小さな子どももカエルのように跳ねることを伝え、先生が一度しゃがんで跳ねてみせる。	写真を見て、何をしているところかを言う。先生のカエル跳びを見る。	“Look. This is Sweden.” “People dance around a tall pole.” “They jump like little frogs!” “Grandparents and children jump together.”
展開1	4	体の部分の絵カードを1枚ずつ見せ、先生がその場所を指しながら英語で言い、子どもにまねさせる。カエルの歌では「耳もない、しっぽもない」と歌い、手を耳とおしりに当てることを伝え、No ears, no tail! を手の動きといっしょに練習する。	体の部分を指しながら英語で言う。No ears, no tail! を動きといっしょに言う。	“Touch your ears. Ears!” “Touch your head. Head!” “In the frog song, they say “No ears, no tail!”” “Hands on your ears. Now hands on your bottom. No ears, no tail!”
展開2	6	輪になってしゃがませ、先生の合図でカエル跳びで少しずつ回らせる。先生が体の部分を英語で言ったら、止まってその場所をさわらせる。慣れてきたら No ears, no tail! の合図を入れ、全員で言いながら耳とおしりに手を当てさせる。2回目は子どもの1人に体の部分を言う役をさせる。	輪になってカエル跳びで回り、聞こえた体の部分をさわる。	“Make a circle and sit down like frogs.” “Jump, jump, jump! Stop! Touch your nose!” “Everyone, say “No ears, no tail!”” “Who wants to be the leader?”
まとめ	2	席に戻り、今日言えた体の部分を絵カードで確かめる。最後に Happy Midsummer! を全員で言って終える。	絵カードを見て体の部分を英語で言い、Happy Midsummer! と言う。	“What is this? Yes, ears!” “Great dancing, everyone.” “Happy Midsummer!”

板書例

Midsummer (Sweden)

little frogs dance

ears head hands nose eyes tail

No ears, no tail!

(手を耳に → おしりに)

Happy Midsummer!

評価のポイント

- 先生が言った体の部分を聞いて、正しい場所をさわれたか。
- No ears, no tail! を動きといっしょに言えたか。

つまづきへの手だて

- 聞き取れない子には、先生が絵カードを高く上げて見せながら言う。
- 跳ぶのがむずかしい子や足が痛い子は、立ったまま手拍子をしながら歩いて回らせる。
- リーダー役で英語が出ない子には、絵カードを渡し、カードの絵を見せるだけでもよいことにする。

発展

- 基本セット p.3 のマッチング（frog・strawberry・sun など6組）に取り組む。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで frog・strawberry・sun・fire・fish を書く。
- 基本セット p.6 の迷路 Help Freja get to the Midsummer pole! に取り組み、ひみつの語 SUMMER を見つける。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.8（なぞり書き）
- 基本セット p.6（迷路）



2. 冬至と夏至：日本と北欧の行事くらべ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

🎧 ねらい

日本の冬至・夏至とスウェーデンの夏至祭の過ごし方を表にまとめ、日の長さや梅雨と結びつけて行事のちがいを考える。In Sweden, ... but in Japan, ... の形で比較の文を3つ書いて発表できる。

📁 準備

- このサイトの英語ページ本文 The Longest Day of the Year（印刷・人数分）と音声
- 記事の「スウェーデンの夏至祭」「日本の夏至」の節の要点プリント（夏至祭イブは6月19～25日の金曜日・夏至柱とカエルのダンス・ニシンと新じゃがいもとイチゴ／日本の夏至は梅雨のさなか・二見興玉神社の夏至祭・夏至カレー／冬至のゆず湯とかぼちゃ）
- 比較表のワークシート（行：日本の冬至・日本の夏至・スウェーデンの夏至祭／列：天気や日の長さ・主な習慣）
- アクティビティ集 B5（国比べ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	「冬至の日に何をする？」「夏至の日には？」と聞く。冬至にはゆず湯やかぼちゃがあるのに、夏至の習慣はあまり思いつかないことに気づかせる。そのうえで、スウェーデンでは夏至祭がクリスマスに次ぐ大切な行事とも言われることを紹介する。	冬至と夏至の過ごし方を思い出して言う。	"What do you do on the winter solstice?" "Some people take a yuzu bath and eat pumpkin." "What about the summer solstice? Not much, right?" "In Sweden, Midsummer is one of the biggest parties of the year."
展開1	11	英語ページの本文を音声で聞かせてから読ませ、要点プリントとあわせて比較表を埋めさせる。スウェーデンは冬が長く暗いこと、北部では太陽がー晩じゅう沈まないこと、日本の夏至は梅雨のまったただ中であることを、天気や日の長さの欄に必ず入れさせる。	本文と要点プリントを読み、3つの行事を表にまとめる。	"Listen to the passage first. Then read it." "In Sweden, winter is long and very dark." "In the far north, the sun does not set at all." "In Japan, the summer solstice comes in the rainy season." "Fill in the table: weather and main customs."
展開2	10	グループで、なぜ北欧では夏至が大きな祭り、日本では冬至の習慣のほうが多いのかを話し合わせる。表の天気と日の長さの欄を根拠にするよう指示する。Discussion の問い Japan has big events for winter, like New Year, but few for the summer solstice. Why do you think so? を板書し、英語で理由を2つ書かせる。	グループで理由を話し合い、英語で2つ書く。	"Why is Midsummer a big festival in Sweden?" "Why does Japan have more customs for the winter solstice?" "Use the table. Think about the weather and the length of the day." "Write two reasons in English."
展開3	7	In Sweden, ... but in Japan, ... の形で比較の文を3つ書かせる。天気や日の長さ・食べ物・過ごし方のそれぞれで1文ずつ書くよう指示し、事実は表と照らし合わせて確かめさせる。	比較の文を3つ書き、表で事実を確かめる。	"Write three sentences with 'In Sweden, ... but in Japan, ...'" "One about the weather, one about food, and one about what people do." "In Sweden, people eat strawberries on Midsummer, but in Japan, some people eat pumpkin on the winter solstice."
まとめ	8	各グループから1人ずつ、比較の文を1つと理由を1つ発表させる。全体の発表のあと、気候が行事の形を変えるという点を短くまとめる。	比較の文と理由を発表し、ほかのグループの考えを聞く。	"Each group, read one sentence and one reason." "The weather and the sun change our festivals." "Good job, everyone."

📌 板書例

Winter solstice / Summer solstice

| weather・day | main customs

Japan 冬至 | — | yuzu bath, pumpkin

Japan 夏至 | rainy season | Futami (Meoto Iwa), geshi curry

Sweden Midsummer | long dark winter → sun does not set (far north) | pole, frog dance, herring, strawberries

In Sweden, _____, but in Japan, _____.

Q. Why is Midsummer big in Sweden?

Q. Why does Japan have more winter customs?

✅ 評価のポイント

- 3つの行事の天気・日の長さ・習慣を、資料にそって正しく表にまとめられたか。
- 行事のちがいの理由を、日の長さや梅雨と結びつけて説明できたか。
- In Sweden, ... but in Japan, ... の比較の文を3つ、事実の誤りなく書けたか。

👉 つまづきへの手だて

- 英文を読むのに時間がかかる生徒には、本文の第1段落（冬の暗さと日の長さ）と第3段落（ダンスと食べ物）だけを先に読ませる。
- 理由が出ないグループには、「日の長さ」「天気」「季節の食べ物」の3つの観点を示す。
- 比較の文が書けない生徒には、表の語句（the rainy season / herring / a yuzu bath など）をそのまま空所に入ればよいと伝える。

🚀 発展

- アクティビティ集 B5（国比べ）で、スウェーデン・フィンランド・ラトビア・デンマークの夏至祭を日本とベン図で比べ、I want to visit _____ on Midsummer because _____. を書く。
- 記事の「よくある誤解」を読み、Discussion の問い Many people believe Midsummer comes from ancient times, but some historians disagree. Why do people like to believe traditions are very old? について意見を書く。
- 英語ページのクイズ5問に取り組む。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文 The Longest Day of the Year と音声
- 記事の「スウェーデンの夏至祭」「日本の夏至」の節
- アクティビティ集 B5（国比べ）